

西国巡礼慈悲の道

西国第十九番 霊麴山

革堂行願寺

水は方円の器に随う

住職 中島光海

恵みの雨と言われるように、水は私たちが生きていく上で最も大切なものです。しかし多過ぎては洪水となり、少な過ぎては干ばつとなり、どちらも度が過ぎれば害を及ぼすことにもなります。

「水は方円の器に随う（『韓非子』外儲説）という教えがあります。水は容器の形によってその姿をかえ

るということですが、人も交友関係や環境によってよ

くも悪くもなるという意味です。

この言葉は観音様のおこころそのものに繋がるのではないかと考えました。観音様は老若男女、全ての人々を救うため、十一の顔、千の手、千の眼をお持ちになつて三十三種に姿（心）を変えてはたらいて下さっています。

『観音経』の中に、
悲體戒雷震 慈意妙大雲
澍甘露法雨 滅除煩惱燄

とありますが、これは「観世音菩薩は雷のように大きな力をもって人々を戒めるが、それは大悲心であり、また大勢の人を救いたいという慈悲心は大空一面に覆う雲のように私たちに覆降り注ぎ、その慈悲と智慧によって私たちの煩惱もなくなるということです。

日頃私たちは何事もなく日暮しをさせて頂いていますが、目には見えなくてもこの観音様の慈悲のはたらきによって生かされ育まれているのではないのでしょうか。

団塊の方々が社会の第一線から退かれていく今日、戦後のわが国の発展のために精一杯働いてこられ、これから新しい生き方を見つ

けていかれることも必要なことかと思えます。これから充実した人生を送られるように、親、ご先祖様、自然の恵み、そして私たちが生きていくために失われていった数多くの生命に対してこれまで生かされてきたことに感謝し、「おかげさま」の心をもって札所を巡る時間を持たれてはいかがでしょうか。



観音風光

◆ 付近の名所

禁裏御所

岡崎公園

黒谷真如堂

西国第十九番

霊麿山

こうどうぎょうがんじ
革堂行願寺

天台宗

御本尊／千手観世音菩薩 開基／行円上人

はなをみて いまはのぞみも こうどうの

にわのちぐさも さかりなるらん

主な年中行事

一月一日

修正会

一月十七・十八日

初観音御開帳

二月節分の日

厄除星祭祈禱

八月十三日より三日間

盂蘭盆会

八月二十一日～二十三日

幽霊絵馬供養

〒604-0991 京都市中京区寺町通竹屋町上ル行願寺門前町17番地

TEL 075-211-2770

納経時間 午前 8 時～午後 5 時

仏教用語一口解説

不邪淫とは

「正当な夫婦関係以外に淫事を行ってはならない。」という意味。この世界には男性と女性がいて、出会い家庭を築き、家族寄り添って生活をする、ここに喜びと安らぎが生まれてくるのです。しかし、欲望のままに心を惑わすことは、自分の快樂と引き換えに多くの人の心を傷つけることになるのです。身勝手な行為は家庭に不信と憎しみと多くの悲しみを作り出します。夫婦がお互いを「尊敬しあおう」と心がけることが大切なのです。